

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【公開番号】特開 2004-10511 (P2004-10511A)

【公開日】平成 16 年 1 月 15 日 (2004.1.15)

【年通号数】公開・登録公報 2004-002

【出願番号】特願 2002-163839 (P2002-163839)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 38/22

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/20

A 6 1 P 5/18

【F I】

A 6 1 K 37/24

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/20

A 6 1 P 5/18

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 16 日 (2005.5.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒト - P T H (1 - 3 4) を有効成分とし、P T H 水溶液が p H 3 ~ 5 であり、且つ安定化剤としてメチオニン及び / またはキシリトールを含有する事を特徴とする、P T H 水溶液注射剤。

【請求項 2】

P T H 水溶液中における P T H 濃度が 0 . 5 ~ 5 0 0 μ g / m L である請求項 1 に記載の P T H 水溶液注射剤。

【請求項 3】

メチオニンあるいはキシリトールの添加量が、P T H 1 重量に対し、4 0 から 4 , 0 0 0 重量である請求項 1 又は 2 に記載の P T H 水溶液注射剤。

【請求項 4】

P T H 水溶液をプラスチック製プレフィルドシリンジに充填することを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の P T H 水溶液注射剤。

【請求項 5】

安定化剤がメチオニンである請求項 1 ~ 4 に記載の P T H 水溶液注射剤。

【請求項 6】

p H 3 ~ 5 とし、且つ安定化剤としてメチオニン及び / またはキシリトールを含有させる事を特徴とするヒト - P T H (1 - 3 4) 水溶液注射剤の光に対する安定化方法。

【請求項 7】

ヒト - P T H (1 - 3 4) 水溶液中における P T H 濃度が 0 . 5 ~ 5 0 0 μ g / m L である請求項 6 に記載のヒト - P T H (1 - 3 4) 水溶液注射剤の光に対する安定化方法。

【請求項 8】

メチオニンあるいはキシリトールの添加量が、PTH 1 重量に対し、40 から 4,000 重量である請求項 6 又は 7 に記載のヒト - PTH (1 - 34) 水溶液注射剤の光に対する安定化方法。

【請求項 9】

PTH 水溶液がプラスチック製プレフィルドシリンジに充填されていることを特徴とする請求項 6 ~ 8 のいずれかに記載の PTH 水溶液注射剤の光に対する安定化方法。

【請求項 10】

安定化剤がメチオニンである請求項 6 ~ 9 に記載のヒト - PTH (1 - 34) 水溶液注射剤の光に対する安定化方法。

【請求項 11】

pH 3 ~ 5 とし、且つ安定化剤としてメチオニン及び / またはキシリトールを含有させる事の特徴とする、光による劣化の懸念のあるヒト - PTH (1 - 34) 水溶液注射剤の流通時の保存方法。